

1. 事業評価総括表

番 号	交付金事業の名称	交付対象都道府 県又は市町村そ の他の者の名称	交付金事業に 要した要費用 (千円)	交付金充当額 (千円)	備 考
1	高規格救急自動車 更新事業	いちき串木野市	30,415	30,050	
2	市道海瀬坂下線 道路改良事業	いちき串木野市	18,546	17,400	
3	市道大原港線 歩道改良事業	いちき串木野市	16,150	15,600	

## 2. 事業評価個表

番号	交付金事業の名称		
1	高規格救急自動車 1台		
交付対象都道府県又は市町村 その他の者の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市消防本部 いちき串木野市昭和通 133 番地 1		
交付金事業の概要	高規格救急自動車 1台		
総事業費 (千円)	30,415	交付金充当額 (千円)	30,050
交付金事業の成果 及び評価	<p>国家石油備蓄基地が立地されている本市は、消防本部を核に1消防署、1分遣所、消防団本部、12分団の消防防災体制を整えており、消防施設等の整備については、消防施設整備事業に基づき実施し、住民の災害等に対する不安を払拭して安心安全なまちづくりを目指している。</p> <p>消防署に配備されている救急自動車（以下「救急車」という。）は、平成24年に導入し、救急件数の増加に伴い、ここ数年にあっては故障頻度が高くなっていた。</p> <p>救急車は、市民の生命に直結する重要かつ必要不可欠な車両であり、代替性のないものであるとともに、コンビナート等災害における国家石油備蓄基地との有機的な災害対応において、重要な役割を担う車両であることから、早期の更新を必要とするものであった。</p> <p>今回更新した救急車は、衝突回避や被害軽減をサポートする機能を装備するなど、安全管理にも十分配慮した最新型の車両であることから、現場での救急活動が安全かつ的確に行えらるとともに、本市消防における救急体制がより確実なものとなり、住民の安心安全が確保されたと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	高規格救急自動車 1台	指名競争入札	鹿児島トヨタ自動車(株)
			契約金額(千円) 30,415
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方：			
事業は本年度で完了			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし

番号	交付金事業の名称		
2	市道海瀬坂下線道路改良事業		
交付対象都道府県又は市町村 その他の者の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市生福地内		
交付金事業の概要	市道海瀬坂下線道路改良 L=400m W=5.7m A=2,343 m <sup>2</sup>		
総事業費 (千円)	18,546	交付金充当額 (千円)	17,400
交付金事業の成果 及び評価	<p>国家石油備蓄基地が立地されている当市は、日頃より自衛消防体制の充実など総合的な消防力の充実強化を図ることとしている。</p> <p>また、老朽化した道路や側溝を計画的に整備することで、安心安全な交通状態を確保し、円滑な緊急出動や消火活動ができるよう努めている。</p> <p>市道海瀬坂下線は、路面等の老朽化に伴いスムーズな交通に支障を来していたことから、早期に舗装等の整備を行い、安心して安全な交通状態の確保を図る必要があった。</p> <p>今回、路面を舗装してヒビ割れや凸凹を解消したことで、走行性が向上し、日常の交通状態はもとより、災害時等の緊急車両の出動体制がより確実なものとなり、住民の利便性の向上及び安心安全の確保につながったものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	市道海瀬坂下線 道路改良事業	条件付一般競争入札	串木野建設工業株式会社
			契約金額(千円) 18,546
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方：			
来年度以降も引き続き石油貯蔵施設立地対策等交付金事業として継続することは、石油貯蔵施設及び石油類運搬車両の事故による火災発生に際し、緊急車両の円滑な出動体制の向上のため必要であると考えられる。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし

番号	交付金事業の名称		
3	市道大原港線歩道改良事業		
交付対象都道府県又は市町村 その他の者の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市大原地内		
交付金事業の概要	市道大原港線歩道改良 L=87m W=3.0m A=130 m <sup>2</sup>		
総事業費 (千円)	16,150	交付金充当額 (千円)	15,600
交付金事業の成果 及び評価	<p>国家石油備蓄基地が立地されている当市は、日頃より自衛消防体制の充実など総合的な消防力の充実強化を図ることとしている。</p> <p>また、老朽化した道路や側溝及び歩道を計画的に整備することで、安心安全な交通状態を確保し、円滑な緊急出動や消火活動ができるよう努めている。</p> <p>市道大原港線は、植栽の根の成長による車道の損傷や高木による視界不良などにより、住民のスムーズな避難に支障を来していたことから、早期に整備を行い、安心安全な避難経路及び交通状態の確保を図る必要があった。</p> <p>今回、路面舗装によるヒビ割れや凸凹の解消をはじめ、植栽等の撤去により、視界も良好になったことから、日常の交通状態はもとより、住民の利便性が向上し、災害時等の安心安全な避難経路の確保につながったものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	市道大原湊線歩道改良事業	条件付一般競争入札	株式会社満留建設
			契約金額(千円) 16,150
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方：			
来年度以降も引き続き石油貯蔵施設立地対策等交付金事業として継続することは、石油貯蔵施設及び石油類運搬車両の事故による火災発生に際し、住民の安心安全な避難経路の確保や緊急車両の円滑な出動体制の向上のため必要であると考えられる。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし